

はじめに

このたび、令和2年(2020年)千葉県産業連関表をとりまとめましたので、報告書を発行いたします。本表は昭和55年表を初版とし、以降概ね5年ごとに公表を重ね、今版で9回目を迎えます。

産業連関表は、経済学者W・レオンチェフ(Leontief, Wassily 1906～1999)が1930年代に提唱した統計表です。アメリカ、中国、EU諸国をはじめ多くの国で作成されています。千葉県産業連関表は、県内で1年間に行われた産業相互間及び産業と家計等との財・サービスの取引を一覧表にした統計表です。産業で生み出される財やサービスがどのような産業や家計等と取引され、供給されていくかをまとめたものであることから、投入産出表(Input-Output Table)とも呼ばれています。

この表により、産業構造の把握や他の統計では得られない生産構造や産業間の取引の態様を明らかにすることが可能となるばかりでなく、表から算出される各種係数を利用することにより、さまざまな経済波及効果を分析することができます。

この報告書が地域経済分析の基礎として、行政機関のみならず産業界等にも幅広く活用されることを期待いたします。

本報告書の作成に当たっては、推計技術に関する検討課題が残されておりますが、今後一層の研究を重ね精度の向上に努めてまいりたいと存じます。

おわりに、本書の作成にあたり貴重な資料を提供していただいた各事業所、団体並びに御協力を賜りました関係機関に対しまして、心からお礼申し上げます。

令和7年11月

千葉県総合企画部長 三神 彰

目 次

第1章 令和2年(2020年)千葉県産業連関表からみた県経済

第1節	令和2年(2020年)千葉県経済の概要	2
1	概要	2
2	総供給の構成	4
3	総需要の構成	5
4	生産構造	6
5	投入構造	10
6	需要構造	14
7	県際構造	17
第2節	機能分析	19
1	逆行列係数	19
2	影響力係数と感応度係数	22
3	最終需要と生産誘発	25
4	最終需要と粗付加価値誘発	27
5	最終需要と移輸入誘発	29

第2章 産業連関表の見方・使い方

第1節	産業連関表の見方	33
1	産業連関表とは	33
2	内生部門と外生部門	33
3	費用構成と販路構成	35
4	需給バランスの整合	35
5	千葉県産業連関表を見る	35

第2節	産業連関表の使い方	37
1	投入係数	37
2	逆行列係数	38
3	影響力係数と感応度係数	39
4	最終需要と生産	41

第3章 統計表

1	13 部門分類	45
2	統合大分類	55

第4章 千葉県産業連関表付帯表 雇用表

第1節	雇用表の概要	89
1	雇用表の概念	89
2	雇用表の見方	89
3	雇用表の使い方	90

第2節	雇用表から見た千葉県の就業構造	91
1	従業上の地位別構成	91
2	産業別構成	91
3	就業係数、雇用係数	94
4	最終需要と就業誘発、雇用誘発	96

第3節	計数表	98
1	13 部門分類	100
2	統合大分類	104

第5章 千葉県産業連関表の概念・定義等

1	平成27年表との主な変更点	119
2	対象期間	119

3	地域的範囲	119
4	部門分類数	119
5	移輸入の扱いと表形式	120
6	価格評価	120
7	輸出入品の価格評価	120
8	特殊な取扱いをする部門	121
9	外生部門	130

第6章 部門分類・コード表

部門分類・コード表(基本分類・統合分類・簡易分類)	134
---------------------------	-----

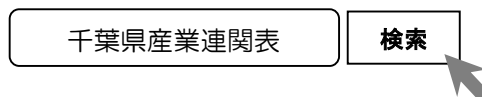
図表目次

第1章	図1-1	令和2年(2020年)表からみた財・サービスの流れ	3
	図1-2	生産額の産業別構成比(13部門分類)	7
	図1-3	生産額の伸び率(県、国)(13部門分類)	7
	図1-4	特化係数(統合大分類)	8
	図1-5	中間投入と粗付加価値の比率(13部門分類)	11
	図1-6	中間投入に占める財の投入割合(13部門分類)	13
	図1-7	粗付加価値の部門別構成比	14
	図1-8	最終需要の部門別構成比	15
	図1-9	最終需要の部門別伸び率	15
	図1-10	中間投入率と中間需要率(13部門分類)	17
	図1-11	生産波及の大きさ(統合大分類)	21
	図1-12	影響力係数と感応度係数	24
	図1-13	影響力係数と感応度係数(説明)	25
	図1-14	最終需要項目別生産誘発依存度	25
	図1-15	最終需要項目別生産誘発係数	27
	図1-16	最終需要項目別粗付加価値誘発係数	28
	図1-17	最終需要項目別粗付加価値誘発依存度	29
	図1-18	最終需要項目別移輸入誘発依存度	31
	図1-19	最終需要項目別移輸入誘発係数	31
	表1-1	総供給の部門別金額、構成比及び移輸入割合(13部門分類)	4
	表1-2	総需要の部門別金額、構成比及び移輸出割合(13部門分類)	5
	表1-3	産業別県内生産額、構成比、増減額、伸び率及び寄与度 (13部門分類)	6
	表1-4	生産額と特化係数(統合大分類)	9
	表1-5	中間投入及び粗付加価値の金額、構成比(県、国)	10
	表1-6	中間投入及び粗付加価値(13部門分類)	11
	表1-7	中間投入の内訳(財・サービスの比率)(13部門分類)	12

	表 1- 8	粗付加価値の項目別金額、構成比	13
	表 1- 9	最終需要の項目別金額、構成比	15
	表 1-10	移輸出入額及び移輸出入率（13 部門分類）	18
	表 1-11	県内生産波及の大きさ（統合大分類）	20
	表 1-12	影響力係数・感応度係数（統合大分類）	23
	表 1-13	最終需要項目別生産誘発額、生産誘発依存度及び生産誘発係数	26
	表 1-14	最終需要項目別粗付加価値誘発額、粗付加価値誘発依存度及び粗付加価値誘発係数	28
	表 1-15	最終需要項目別移輸入誘発額、移輸入誘発依存度及び移輸入誘発係数	30
第2章	図 2- 1	産業連関表のしくみ	34
	図 2- 2	投入係数を介した生産波及	39
	表 2- 1	千葉県産業連関表（3 部門）	36
	表 2- 2	産業連関表（取引基本表の例）	37
	表 2- 3	投入係数表の例	37
	表 2- 4	逆行列係数表の例	39
	表 2- 5	影響力係数の例	40
	表 2- 6	感応度係数の例	40
	表 2- 7	最終需要項目別生産誘発額	42
第4章	図 4- 1	従業上の地位別構成（13 部門分類）	91
	図 4- 2	産業別構成（13 部門分類）	91
	図 4- 3	特化係数（従業者・統合大分類）	92
	図 4- 4	就業係数・雇用係数（統合大分類）	95
	図 4- 5	最終需要項目別就業誘発依存度（統合大分類）	97
	図 4- 6	最終需要項目別雇用誘発依存度（統合大分類）	97
	表 4- 1	特化係数（従業者・統合大分類）	93
第5章	図 5- 1	ストーン方式の表章例	122
	図 5- 2	「使用者主義」の表章例	125
	図 5- 3	「所有者主義」の表章例	125
	図 5- 4	「事務用品」の表章例	126
	図 5- 5	「自家輸送」部門を設けた表章例	127
	図 5- 6	生産活動主体分類の体系	128
	図 5- 7	非市場生産者（対家計民間非営利団体）の活動の表章形式	129
	表 5- 1	部門分類数の推移	120

利 用 上 の 注 意

- 1 対象は、令和2年（暦年）1年間における千葉県内のすべての経済取引です。
- 2 表形式は、地域内競争移輸入型の生産者価格評価表です。
- 3 県では13部門分類表、統合大分類表（37部門）、統集中分類表（107部門）及びそれぞれの付帯表（雇用表）を公表しており、本書では、そのうち、13部門分類表と統合大分類表（雇用表も同様）を掲載しています。
なお、千葉県ホームページよりすべての電子データをダウンロードできます。



- 4 金額単位は百万円を原則としています。ただし、文中及び一部の図表では億円単位を用いている箇所があります。
- 5 数字の単位未満は、四捨五入を原則としています。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
- 6 部門分類及び概念は国の産業連関表と基本的に同じです。
- 7 千葉県産業連関表では、作表年度ごとに部門分類、概念、定義が変更になっているほか、推計方法や参照するデータを見直している部門があります。そのため、過去の表の計数との比較には注意を要し、単純に比較できない場合があります。
- 8 「県民経済計算」とは、概念・定義、推計資料・方法等が異なっているので、計数は一致しません。
- 9 本書についての問合せ先は、次のとおりです。

千葉県総合企画部統計課

電話 043-223-2219（直通）

tkrenkan@mz.pref.chiba.lg.jp